

小栗山地域環境保全会〔色麻町〕

地区概要	取組面積：89.8ha（田83.8ha、畑6ha） 資源量：水路30.0km 農道5.0km ため池 一箇所
令和2年度交付金	農地維持支払交付金 2,635千円 資源向上支払（共同活動）交付金 1,676千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 -千円
地域の概要	本地域は、色麻町の北西部に位置した農村地帯です。船形山の源流一級河川鳴瀬川水系保野川の最上流地域であり、清流を使い米作りを営んでいます。
取組みの概要	南山果樹園や船形山、色麻平沢温泉「かつばのゆ」への通り道であり、観光客が多く通るところであるため、地域の景観を良くしたいというのが、多面的機能支払交付金制度に取り組んだ理由です。 活動内容としては、農用地や水路、農道などの草刈り、水路の軽微な補修、植栽活動、水田貯留機能向上活動、水利施設等の定期的な巡回点検・清掃活動などを行っています。 イノシシなどの鳥獣が多く出る地域でもあり、鳥獣被害防護柵の補修にも力を入れています。 また、組織で「保全会だより」という広報紙を作成、構成員に配布し、組織の日頃の活動を周知しています。
取組みによる効果	草刈り、花の植栽、ゴミ拾い等を行うことで地域の景観が良くなりました。植栽作業やゴミ拾い作業を非農業者と一緒に行うことで、日頃から地域の景観に気を付けるようになりました。 また、多面的機能支払交付金の活動は“地域住民の交流の場”ともなっており、取組み前よりも地域の交流が活発になっています。 鳥獣被害防護柵の補修に交付金を充てられることにより、地域の鳥獣対策への関心や意欲が高まったと感じています。
今後の課題	構成員の高齢化により、草刈り作業や水路の補修等の保安全管理への負担が増加傾向にあります。今後、いかにして地域資源を守っていくかが重要な課題となっているところです。



水路の草刈り



水路の泥上げ



水路の軽微な補修



鳥獣防護柵の補修



植栽等の景観形成活動



水田の貯留機能向上活動